

株式会社 宮津商店

一時は飛ぶように売れた鉄瓶 今度は堅調な内需に支えられるように



◀ 同社の鉄瓶「国宝」シリーズの「近江八景」。中国人観光客の「爆買い」があった時の人気商品の1つ。



↓ 「地域資源ファンド事業」の支援を受けて出展した海外の展示会。左より香港(2015年)、北京(2016年)、台湾文博会(2017年)など。



ブームの後ふたたび……

公的な産業支援のメニューについては、展示会に同行した当機構の職員から説明を受け、「今度、商品開発と販路開拓で支援を受けたい」と思ったそうだ。一方の鉄瓶人気の真偽について……。同行の富山県企業の中では同社の商品はダントツの人気で、展示した鉄瓶のほとんどを販売。多数の引き合いも受け、ウワサが本当であることを実感したのだった。

「当時、日本の鉄瓶が中国の富裕層の間で人気を博し、徐々に売れ始めていました。当社にも、今まで取引実績のない問屋さんから在庫の問い合わせがあり、『ひょっとしたら中国向けかな』と思ったりもしましたが、本当のところはわかりませんでした。ところが実際に展示してみると、台湾でもすごく人気が高かったのです。そこで、高岡の鋳物の技術を使って、精緻な意匠をこ

「KANAYA」。高岡市の銅器関係の企業13社が共同で立ち上げたインテリア用品のブランド。国の「Japanブランド育成支援事業」の採択を受けて商品開発や販路開拓を進め(平成23~25年度)、26年度からは当機構の「地域資源ファンド事業」の支援を受け、商品数と流通チャネル増大に向けた取り組みをしていた。宮津商店はその13社のうちの1社であった。

当機構では26年に、KANAYAに台湾での展示会出展の案内を出したところ、KANAYAからは「今回は見合わせる」という返事がきたものの、メンバーの1社である宮津商店から「費用は自社で負担する。ぜひ参加したい」という申し出があった。手を挙げた理由を宮津健志社長にうかがうと、「これを機会にどのような公的な産業支援があるのかを知りたかったのと、当時、中国や台湾向けに鉄瓶が売れつつあるというウワサがあり、それを確かめたかったから」だという。



◀ 同社の従来の主力であった銅器関連の商品。左から「鬼面七宝地紋 鬼面金漆」、「唐銅 木瓜象耳」、「銅鐃 南蛮風」。



◀ 数百年前の浮世絵や仏像をモチーフにデザインを起した鉄瓶「国宝」シリーズの一部。左から富嶽三十六景、紅白梅図、風神雷神図。以前は免税店など外国人旅行者が多く訪れるショップでの販売がメインであったが、最近はデパートが多くなってきた。

らした鉄瓶を開発すればいいのではないか、と思ったのです」

宮津社長はこの思いを、「地域資源ファンド事業」(27~28年度)の採択を通して実現することに。国宝級の美術品などの意匠をモチーフにした鉄瓶の開発に拍車をかけ、前年から用意していたものと合わせて支援期間中に11種の鉄瓶を開発。できたところから展示会で紹介し販路を開拓しようとした。

「ちょうどこの頃から、中国からの観光客の『爆買い』が始まり、弊社がおさめている問屋さんの先の販売店でもよく売れました。中には『これ10個、あれ10個、それ10個』という感じで買われたお客もおられたようです」

宮津社長は「飛ぶように売れるというのはこういうことだ」と身振り手振りで商売繁盛の様子を紹介してくれた。しかし、それも2年もしないうちに沈静化し、今度は別な方面からの引き合いが入り始めたのだ。

「最初の2年弱の小売店は、免税店や土産物店などがメインでしたが、最近はデパートの催事に声をかけていただけるようになり、それがご縁で常設の販売コーナーでも扱っていただけるようになってきました」(宮津社長)

今度はシンプルデザインの鉄瓶を

最初はMデパート本店の和食器売り場からの誘いであったものが、次は美術サロンからの依頼に。しばらくすると系列の別なお店からも声がかかるようになり、さらには別なデパートからも……という具合に、爆買いの時のような勢いはないものの商品は再び動き始め

たのである。

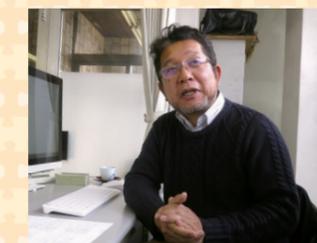
そこで宮津社長は、さらに新たな鉄瓶の開発に乗り出した。先の鉄瓶開発では高岡に伝わる鋳物技術の中でも、蠟型という精緻な意匠を再現する技術を用いたのであるが、今度は生型の技術を使ってシンプルデザインの鉄瓶をつくらせようと29年度の「地域資源ファンド事業」の支援を仰いだ。

「生型の方は、鉄瓶の上部やふたの部分に意匠を施し、その他は何の模様もつけずにつりとした鋳肌のままで、蠟型のように手間がかかりません。その分、お値段も手頃で……」

生型の鉄瓶の開発は、29年度いっぱいばかりそうだが、宮津社長はそれを持っての海外の展示会出展などについて思いを新たにしているところだ。

Profile

所在地 高岡市千石町3-18
 資本金 1000万円
 従業員 5名
 事業 茶道具、香炉、鉄瓶などの製造販売
 TEL 0766-24-4321
 FAX 0766-24-4323
 URL http://www.miyaz.jp



「新商品の開発は、最近鉄瓶に関するものの方が多くなりました」と語る宮津健志社長。